

## 令和5年度第2回印西市文化財審議会会議録

1. 開催日時 令和6年3月22日（金）午後2時00分～午後4時00分
2. 開催場所 印西市役所 41会議室
3. 出席者 一島委員、岡崎委員、酒井委員、高橋委員、石井委員、外山委員
4. 欠席者 滋賀委員、富田委員
5. 傍聴者 0名（定員5名）
6. 事務局 生涯学習課 飯島課長、菅谷、根本、大関
7. 会議内容（すべて公開）
  1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 議事
    - (1) 令和5年度事業報告について
    - (2) 令和6年度事業計画（案）について
  4. その他
    - (1)（仮称）印西市歴史文化施設基本計画（資料1）
    - (2) 吉高の大桜について（資料2）
    - (3) 無形民俗文化財の保存及び継承について（資料3）
  5. 閉会

## 8. 会議録

1. 開会、2. 会長挨拶
3. 議事
  - (1) 令和5年度事業報告について  
《事務局説明》  
資料をもとに令和5年度事業報告について説明

### 《委員意見》

委員：無形民俗文化財公開事業にある、いなぎ獅子舞が中止となった理由は。  
⇒後継者不足により実施出来なかったことを確認している。

委員：補助金の交付で、市の指定文化財に交付していると推測したが、無形民俗文化財4団体の内訳は。

⇒公開事業を行った、鳥見神社の獅子舞、別所の獅子舞、鳥見神社の神楽、浦部の神楽の計4保存会へ交付している。

委員：市が県指定文化財へ補助金を交付しても良いのか。

⇒文化財の補助金交付要綱で、国、県の指定文化財に対しても、交付できるよう対応しているところである。

委員：巴塚説明板の制作設置工事及び将門の井の修繕については、指定以外の文化財に対し修繕等を行っているが、文化財審議会から積極的な意見が出てからの実施で良かったのでないか。また、未指定の文化財に対し予算執行している点も気になる。

⇒今後は、積極的に審議会でご意見を頂戴しながら進めたいと考える。

委員：補助金の交付で、天然記念物2団体はどのような団体か。

⇒市指定記念物である、藤の木と吉高の大桜である。維持管理費用の一部を補助している。

委員：掩体壕の保全工事は、どのような工法で実施したのか。

⇒除草後、クローバーなどの適用性の高い複数の種子を吹き付けた。時期は、秋ごろに施工しており、現在経過を観察しているところである。成果としては、春から夏にかけての状況と想定している。

委員：掩体壕は住宅地に隣接しており、季節によっては、強風で砂煙などの苦情はでないか。

⇒特に苦情などはない。

委員：貝化石分類作業の進捗状況は。

⇒令和2年度より実施しているが、木下交流の杜歴史資料センターにある貝化石は、棚の分類を先生方に実施していただき、資料整理作業所にある貝化石は、箱詰め作業が完了したため、令和6年度に整理したものを分類していただく予定である。

○意見質問については以上。

○議事（1）について承認をいただいた。

（2）令和6年度事業計画（案）について

《事務局説明》

資料をもとに令和6年度事業計画（案）について説明

《委員意見》

委員：香取秀真展が予定されており、文化勲章などを受賞した有名な方の企画展は良い。この機会に多くの方に知ってもらうことは良いことである。

⇒当市は美術館が無いので、展示ケース・警備・運搬等を委託により対応する。できるだけ、多くの方に知っていただけるよう周知に努めていく。

委員：指定文化財マップの作成とあるが、一宮町が大変良いので参考にしてほどうか。  
⇒他市町村のものも参考に進める。

委員：指定文化財マップの配布場所はどこか。市ホームページにも掲載されるのか。  
⇒配布は、市内の公共施設を予定している。市ホームページにも掲載する予定である。

委員：文化財調査を、文化財審議会の委員や、専門家の方に依頼するなどするための調査費についての予算を確保しておくことも必要ではないか。県の場合は、指定文化財の現況確認と、指定に向けた調査があり、2つの項目を予算化している。  
⇒委員の意見を踏まえて、基礎的な調査なども踏まえて検討する。

委員：市史の内容ではあるが、龍腹寺の板碑調査では大学講師が調査しており、未指定の文化財の調査なども事前に行っている。  
⇒生涯学習課、木下交流の杜歴史資料センター、印旛歴史民俗資料館など複数のセクションに分かれており情報の共有が出来ていない部分もあると思われるので、説明できる体制を整えたいと考える。

○意見質問については以上。  
○議事（2）について承認をいただいた。

## 6. その他

### 【報告1】

- ・(仮称)印西市歴史文化施設基本計画について説明  
《事務局説明》  
資料1に基づき説明

### 《委員意見》

委員：千葉ニュータウン中央駅南側に建設している施設は何か。  
⇒複合施設で、1階は、文化芸術機能とし300席の芸術ホールやバンドスタジオ、アートギャラリー、ミニホール等と市民課の出張所、2階は、健康、子育て部門等、3階は市民安全センター等を予定している。令和7年4月の開館に向け工事をしている。

委員：この後のスケジュールはどのようになっているのか。  
⇒施設規模、立地場所が決まっていないため、庁内の関係部署と協議を続けていく。そのため、設計等については、来年度は行わない。

委員：開館予定次期などは決まっているのか。

⇒現状、未定である。

○意見質問については以上。

・吉高の大桜について

《事務局説明》

資料2に基づき説明

《委員意見》

委員：樹齢は何年か。

⇒400～450年と言われていたが、今回の調査資料では、計算値で510年となっている。

○意見質問については以上。

・無形民俗文化財の保存及び継承について

《事務局説明》

資料3に基づき説明

《事務局説明》

委員：獅子舞、神楽に携わっているが、中根鳥見神社の神楽では5年ぐらい前から子どもたちがいないため、地域外の方に広く声をかけ伝承して行けたらと考え、地域外から通学している本塾中学校に声をかけた。結果、新たに3名ほど加わった。夏は祭り、秋は神楽と子どもたちも今後も参加したいと意見をいただいている。他の地区などでは閉鎖的なところもあると感じる。

⇒地域性があるなかで、地域外の方に声をかけるなど引き続き保存会と話し合いを続けたいと考える。

委員：県内にある町で、小学校を全て統合し1校にした。その小学校の近くにある神社では神楽があり、神楽の練習を全児童が見学できるようにしたところ、多くの見学者が来たため、公民館で教室を開催し、継承者の育成をしている。統合により、結果的に地域外の方も参加するようになった。

⇒永治小が木刈小へ統合したこともあり、学校現場の事業に組み込めないかなどは今後検討していきたい。

委員：永治小の取組みは本当に良いものであった。

委員：新たに取り組む場合、情熱を持った教師がいて、学校として地域に連携を取っていくことが必要と考える。学校とPTAの連携など、多くのコミュニティが形成されており、時代の変化であり方なども変わってきている。については、地域外の方も参加できるように変化していくことも必要と考える。県内の国指定の文化財が、コロナ明けにも関わらず、後継者不足で他の地区の方を取り入れて実施する案も出たが、地域外の方の参加はしないと判断し、中止となった例があった。行事を残すことを目的に進めて行けば良いのではないかと考える。

委員：中学・高校の部活で伝統芸能部などを立ち上げ行っていくことも考えられる。神楽・獅子舞とは違うが、ある祭礼では、中心地区の神輿は地元の方のみ、その他の地区の神輿は誰でも担げるなどの二重の仕組みで行っている事例もある。

○意見質問については以上。

## 7. 閉会

### 会議資料

会議次第、令和5年度事業報告について、令和6年度事業計画（案）について、（仮称）印西市歴史文化施設基本計画（資料1）、吉高の大桜について（資料2）、無形民俗文化財の保存及び継承について（資料3）

令和5年度第2回印西市文化財審議会会議録は、事実と相違ないことを証する。

令和6年4月2日

印西市文化財審議会委員

岡崎 浩子